

広島県と国立大学法人広島大学との 包括的連携に関する協定



広島県



広島大学

平成30年12月27日

- **広島県と広島大学**は、次の事項について連携して取り組みます。

【主な連携事項】

- ・ **地域産業の振興** に関すること
- ・ **地域防災** に関すること
- ・ **教育・文化の振興** に関すること
- ・ **人の集まりと定着** に関すること
- ・ **医療・福祉** に関すること
- ・ **国際平和** に関すること
- ・ **地域の安全・安心** に関すること
- ・ **情報の発信** に関すること
- ・ その他 **県民サービスの向上, 地域社会の活性化** に関すること

- 広島大学に集積している世界レベルの研究力を活用したイノベーション創出
 - 卓越大学院プログラム「ゲノム編集先端人材育成プログラム」採択
 - 地域企業との産学連携によって、デジタルイノベーションを推進
 - 広島中央サイエンスパーク（東広島市）などと連携し、オープンイノベーション促進、新事業創出、人材育成



【主な連携事項】

- ゲノム編集技術の応用や半導体産業における産学連携を推進
- 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション創出プログラム」を実施
- イノベーション創出の「場」と「仕組み」を備えたプラットフォーム「広島リサーチコンプレックス」の形成

- 広島大学の国際的なネットワークを活用し、世界中からトップ研究者、優秀な留学生を呼び集める
 - ・ スーパーグローバル大学トップ型（13校）
 - ・ インド6大学・機関と国際イノベーション人材育成協定、学生の相互派遣開始
 - ・ インド科学産業研究委員会（CSIR）と国際共同研究・教育ハブの構築開始



【主な連携事項】

- ・ 広島県と設置した「バイオデザイン共同研究講座」を柱に、来年度から、日印協働で開発した「ひろしまバイオデザイン」フェローシップコースを開講

※バイオデザイン・・・医療機器の開発にデザイン思考の手法を取り入れ、イノベーションをもたらす人材養成プログラム

● より実効性の高い防災・減災対策を推進

- 平成30年9月、「相乗型豪雨災害」を中心テーマとした広島大学防災・減災研究センターを設置
 - 相乗型豪雨災害のメカニズムの解明と、災害を未然に防ぐための早期検知システム等の開発
 - 災害に強い社会システム、インフラ、ライフラインの整備に向けた研究
- 広島県と連携し、避難行動の調査・分析や今後の水害・土砂災害対策のあり方を検討



【主な連携事項】

- ハード面、ソフト面にわたるセンターの研究成果を、広島県の防災・減災政策の策定や実施につなげる
- 地域の防災活動をリードする人材の育成や防災・減災教育等を推進



その他の主な連携事項①

【教育・文化】

- 広島叡智学園（平成31年4月開校）や庄原格致高校「医療・教職コース」・吉田高校「探究科」（平成31年4月設置）における教育カリキュラムの開発・改善等について連携・協力
- 広島県「教師養成塾」への積極的な参加など、県の教育を担う人材確保に向けた連携・協力



【人の集まりと定着】

- インターンシップ等による学生の就業意識の醸成や地域定着の促進
- 県内産業や企業，地域の魅力の効果的発信に向けた取組

【医療・福祉】

- 「ふるさと枠」による地域医療を担う医師の養成・確保
- ドクターヘリを運用した救急医療の実施





その他の主な連携事項②

【国際平和】

- ひろしま平和研究・教育機関ネットワークに参加し，平和関連の情報の共有・発信

【地域の安全・安心】

- サイバーセキュリティに関する情報共有・技術交流等での連携

【情報の発信】

- 学内ポータルなどを活用した学生への県政情報の発信



【その他県民サービスの向上，地域社会の活性化】

- 女性の活躍・働き方改革について，広島大学の取組紹介や，卒業後のキャリア等を考えるために学生へ情報発信



- 地域・経済の活性化，健康長寿の達成など
スポーツを通じた社会の課題解決や競技力の向上に向けた連携・協力



広島県



広島大学

100年後にも
世界で光り輝く大学へ

University with world-wide fame and splendor even after 100 years



TOP GLOBAL
UNIVERSITY
JAPAN

